

Human Resources Solution



クイックグループ

# 第45期 中間期 株主通信

(2024年4月1日~9月30日)



## 株主の皆様へ

### 主力の人材サービス事業・看護師領域での事業譲受やPR強化をはじめとする積極的な事業投資を進める中で、今上半期は増収・最終増益となりました。

霜秋の候、株主の皆様には平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、第45期中間期(2024年4月1日から9月30日まで)の株主通信をお届けし、決算の概要についてご報告いたします。

上半期の国内経済は、雇用環境や所得の改善、インバウンド需要の高まり等を背景に、緩やかな回復が続いております。これを受けて国内の雇用情勢も、飲食業やサービス業、さらには残業時間の上限を規制する「2024年問題」の対象となった建設業や運輸業等、幅広い分野で採用ニーズが拡大しました。

こうした事業環境において、当社グループは主力の人材サービス事業において、2024年5月に譲り受けた「キャラタス看護事業」の資産を活かし、新たに看護学生向け新卒サービスを立ち上げました。また、「看護roo!」ブランドの更なる浸透を目的としたTVCMをはじめとするプロモーション強化等、看護師紹介の成長に向けた積極的な投資を行いました。さらに、リクルーティング事業では、人材サービス事業との連携による「看護roo!」関連サービスの拡販、顧客企業の採用成功に伴走するための営業体制の再構築や取り扱いメディアの拡充を進めました。その他、海外事業では、米国・デトロイトへの進出による新規マーケット開拓にも取り組みました。この結果、上半期の業績は4期連続の増収となり、前述の事業投資等により営業利益及び経常利益は減益となりましたが、親会社株式に帰属する中間純利益は政策保有株式の縮減に伴う投資有価証券売却益の計上により過去最高益となりました。また、こうした当社グループの経営が「投資者にとって投資魅力の高い会社」として評価され、「JPX日経中小型株指数」の2024年度構成銘柄として3年連続で選定されました。

下半期につきましては、景気の先行きは不透明な状況が続くと予想されるものの、少子高齢化による構造的な人手不足、学生優位の売り手市場を背景とした新卒採用の難易度の高まり等から、今後も各分野で企業の中途採用ニーズは高まっていくことが予想されます。

こうした中、当社グループでは今期及び来期を投資の期間と捉えており、下半期も引き続き、人材サービス事業を中心に今後の成長を見据えた事業投資や新たな注力分野の開拓、事業基盤の強化等を進めてまいります。また、それを支える人材の採用と育成、そして社員それぞれが働きやすい環境の整備等にも取り組んでいくことで、更なる企業価値の向上と今期計画の達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。



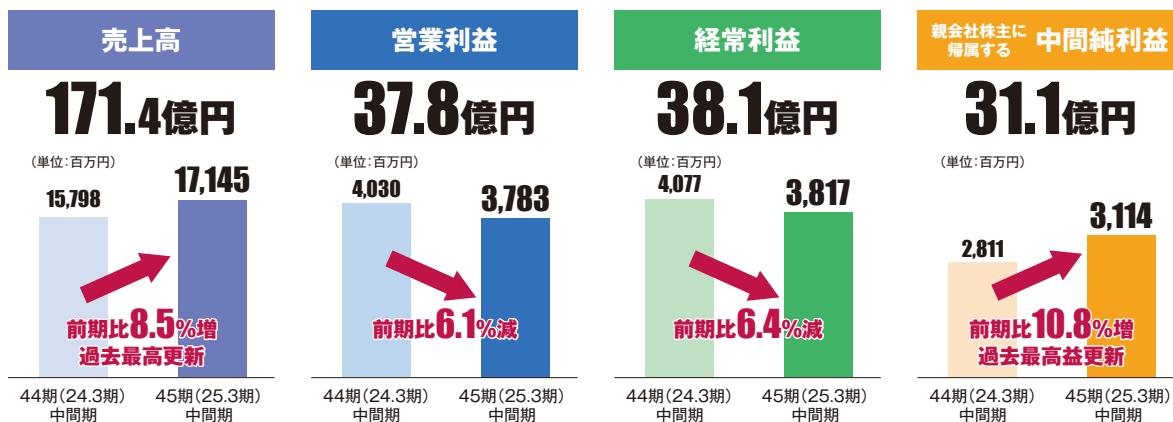
代表取締役会長 兼 グループCEO

和納勉

2024年11月

# 上半期は4期連続の増収も、積極的な事業投資に伴って、営業・経常減益に

積極的な人材採用、看護師領域への事業投資等により営業・経常減益も、政策保有株式の一部売却で、親会社株主に帰属する中間純利益は最高益に



【第45期 中間期決算説明資料はこちら ▶ <https://919.jp/ir/briefing/>】

## News & Topics

### (株)クイック

#### 看護学生の就職情報サイト『看護roo!就活』をオープン! 病院就職合同説明会を初開催!

2024年5月に(株)キャリアタスからキャリアタス看護事業を譲り受け、6月よりサイト名を『看護roo!就活』に変更し、看護学生向け新卒サービスを開始しました。さらに「看護roo!」ブランドとして、7月から8月に東京、札幌、横浜、千葉の4都市で初めて病院就職合同説明会を開催し、約300名の看護学生にご来場いただく、大変好評なイベントとなりました。



#### 『看護roo!転職』のマスプロモーションを開始!

2024年6月より看護師専門の転職支援サービス『看護roo!転職』のウェブCMの配信を開始し、8月にはTVCMも放映いたしました。本CMでは、人気女優・畑芽育さんを起用し、「花占い篇」「あみだくじ篇」「猫篇」「ごみ箱シュート篇」の全4シリーズを公開しております。今後も継続的にマスプロモーションを展開し、当サービスの認知度向上とブランド力強化を図ってまいります。



# セグメント別状況

## 人材サービス事業

売上高 12,366百万円(前年同期比6.5%増) / 営業利益 3,357百万円(同11.7%減)

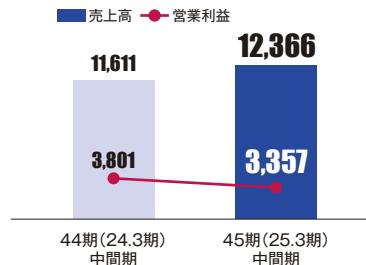
### ■人材紹介

注力領域の建設関連職種や各種エンジニア、看護師等の採用ニーズが旺盛な中、コンサルタントの育成、既存注力企業への深耕営業、新たな注力職種や看護師領域の成功報酬型求人事業における新規顧客開拓等に取り組みました。また、看護学生向けの就職サイト『看護roo!就活』のスタートや『看護roo!就活合同説明会』の開催等、看護学生向けのサービス拡充を進めました。さらに、「看護roo!」ブランドの更なる浸透や登録者獲得に向けてウェブCMやTVCM、電車内の交通広告等の積極的なプロモーション投資を行い、転職支援サービスとしての「看護roo!」のブランド認知も高まりました。これらの結果、人材紹介は増収となりました。

### ■人材派遣・紹介予定派遣・業務請負等

看護師派遣は、新型コロナウイルス関連業務への派遣ニーズが収束し、通常のマーケットに戻る中、介護施設や病院への営業強化、派遣希望登録者の掘り起こし、面談強化に努めました。また、保育士派遣も、運営サイトのユーザビリティ向上等による登録者獲得強化が奏功し、看護師・保育士派遣を含め人材派遣は増収となりました。

### ■売上高 / 営業利益 (百万円)

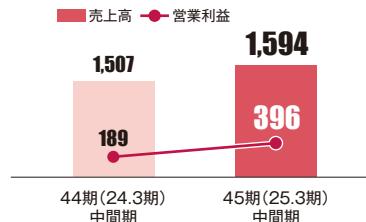


## リクルーティング事業

売上高 1,594百万円(前年同期比5.8%増) / 営業利益 396百万円(同109.5%増)

幅広い業界・職種で採用ニーズが高まる中、注力商品であるIndeed等のアグリゲーション型(特定の情報を複数のWebサイトから収集する検索エンジン型)求人サービスやIndeed PLUSの取り扱いが拡大しました。一方、掲載課金型の中途採用向け既存メディアは単独利用での広告効果が減退しております。この採用環境の変化を受けて採用計画や手法の見直しを検討する企業も増える中、アグリゲーション型求人サービスやIndeed PLUSへの移行提案を促進しました。求人広告取り扱い以外のサービスは、パートナー企業との営業連携強化、人事担当者向けセミナーや動画配信等によるブランディング強化により、新卒採用関連業務や社員研修等のコンサルティング領域が増収となりました。さらに、人材サービス事業と連携し、『看護roo!就活合同説明会』開催に向けた出展先や『看護roo!転職』の成果報酬型求人広告サービスの掲載先開拓等にも注力しました。

### ■売上高 / 営業利益 (百万円)



## (株)HRビジョン

### オンライン人事イベント『HRカンファレンス2024-春-』開催、次世代のCHROを育成する『CHRO養成塾』(第1期)開校!

2024年5月、「日本の人事部」が主催する『HRカンファレンス2024-春-』が開催され、経営者や人事担当者を中心に約2万人以上が参加する大盛況のイベントとなりました。また、4月には、「日本の人事部」がキャリア支援事業として『CHRO養成塾』を開校しました。日本を代表する現役のCHROが講師を務め、次世代のCHROを育成するための実践的な講座が行われました。



## QUICK USA, Inc.

### 米国7拠点目となる新拠点をデトロイトに開設!

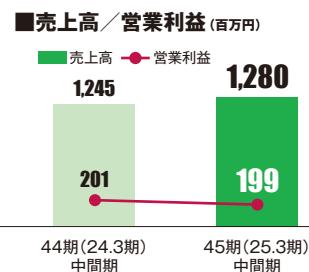
QUICK USA, Inc.は、2024年7月にデトロイトに米国国内7拠点目となる新拠点を開設しました。コロナ禍前までは、ニューヨークとロサンゼルスとの2拠点で事業を展開しておりましたが、2022年から2024年にかけて米国内に新たに5つの拠点(ダラス、シカゴ、オレンジカウンティ、アトランタ、デトロイト)を開設し、事業拡大を加速させてきました。今後も各拠点のネットワークを活かし、現地日系企業の人材ニーズに応じてまいります。



## 地域情報サービス事業

売上高 1,280百万円(前年同期比2.8%増)／営業利益 199百万円(同0.8%減)

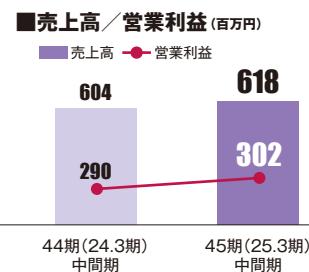
地域情報サービス事業では、生活情報誌において、飲食店やショップ等の販促広告ニーズが堅調でした。一方、資材高騰等の影響による住宅価格の上昇や住宅ローン金利の引き上げに伴う住宅取得マインドの減退を背景に、住宅広告の出稿ニーズは縮小しました。さらに求人広告もWebメディアへ移行する顧客が増えたことで生活情報誌全体は減収となりましたが、移行先となるIndeed及びIndeed PLUSはこれらの既存顧客獲得や新規顧客開拓に努め、業績が拡大しました。また、各家庭に配布する折込チラシ等のポスティングサービスは、新潟エリアが業績を牽引し、増収となりました。一方、「ココカラ。」ブランドで展開するコンサルティングサービスは、転職領域での若手コンサルタントの育成強化やマッチングプロセスの見直し等が奏功して業績が改善しましたが、住宅領域が低調だったため、「ココカラ。」全体としてはほぼ横ばいとなりました。



## HRプラットフォーム事業

売上高 618百万円(前年同期比2.3%増)／営業利益 302百万円(同4.0%増)

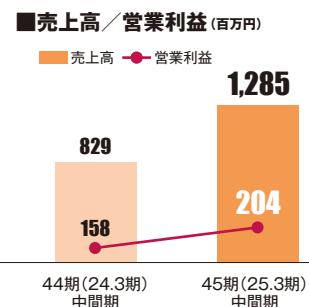
HRプラットフォーム事業では、HR領域の課題解決や採用・育成に関するサービス、研修やセミナーに対する「日本の人事部」会員の関心やニーズが、依然として旺盛な状況です。こうした中、HRテック関連企業による広告出稿先の分散化の動きがあったものの、人事サービス企業のHRイベントへの出展ニーズは強く、2024年5月開催のオンライン人事イベント『HRカンファレンス2024-春-』、8月開催の人事責任者のリアルディスカッションイベント『HRラウンドテーブル』は、いずれも出展枠が完売する等、好調でした。また、今期より新たに開講した『CHRO養成塾』も想定以上の受講申込があり、順調なスタートを切ることができました。



## 海外事業

売上高 1,285百万円(前年同期比54.9%増)／営業利益 204百万円(同28.9%増)

北中米では、米国において新規顧客開拓や既存顧客との関係強化、顧客管理体制の改善や拠点間の連携強化、面談強化に取り組みました。メキシコでは現地人材の採用ニーズにも対応すべく、面談対応のためのスペイン語人材の採用や転職希望登録者の集客チャネルの拡大に取り組みました。これらにより、北中米における人材紹介、米国での人材派遣は増収となりました。欧州では、英国においてコンサルタントの採用及び育成強化、新規顧客開拓、マッチング精度向上のための顧客管理体制の改善に加え、現地人材の登録促進のためのプロモーションや登録サイトの機能拡充を図りました。また、オランダでは国内外のビジネスイベントへの参加等を通じて新規顧客開拓に取り組みました。これらにより、欧州における国際間の転職支援「クロスボーダーリクルートメント®」を含めた人材紹介、英国での人材派遣とも増収となりました。アジアでは、中国において景気悪化を背景に相談顧問サービスの更新、人事制度や規程作成等の新規受注が進まず、企業の採用ニーズも低迷が続きました。ベトナムでは景気回復に伴い企業の採用ニーズが高まる中、既存顧客への営業強化や新規顧客開拓に注力しました。タイでは現地日系企業の採用活動が欠員補充中心となる中、採用難易度の高い求人案件の開拓や対応強化、そのための社員採用と育成強化に取り組みました。これらにより、アジアにおける人材紹介は増収となりましたが、中国での人事労務コンサルティングの業績は厳しい状況が続いております。



# 連結決算概要

## ▶ 連結貸借対照表 (単位:百万円)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	45期 中間期 (2024年9月30日)	44期 (2024年3月31日)	増減額
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	18,605	16,416	2,189
現金及び預金	14,715	13,056	1,659
受取手形及び売掛金	3,454	2,981	472
その他	438	381	57
貸倒引当金	△ 3	△ 3	△ 0
固定資産	5,747	5,626	121
有形固定資産	1,472	1,460	11
建物及び構築物	1,000	1,013	△ 12
車両運搬具	24	14	9
工具、器具及び備品	268	254	14
土地	176	176	—
リース資産	1	1	△ 0
無形固定資産	1,342	1,093	248
ソフトウェア	927	994	△ 66
ソフトウェア仮勘定	218	86	132
のれん	185	2	182
その他	10	10	—
投資その他の資産	2,933	3,072	△ 138
投資有価証券	2,034	2,131	△ 97
敷金	800	823	△ 22
繰延税金資産	62	77	△ 14
その他	45	44	1
貸倒引当金	△ 10	△ 5	△ 5
資産合計	24,353	22,042	2,310

	45期 中間期 (2024年9月30日)	44期 (2024年3月31日)	増減額
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	5,487	5,162	324
買掛金	836	789	46
短期借入金	115	121	△ 6
未払金	1,135	1,461	△ 326
未払費用	769	776	△ 7
未払法人税等	1,431	530	901
未払消費税等	476	417	59
賞与引当金	332	641	△ 309
役員賞与引当金	—	35	△ 35
資産除去債務	—	29	△ 29
その他	391	359	31
固定負債	398	459	△ 60
繰延税金負債	127	192	△ 65
退職給付に係る負債	21	17	3
資産除去債務	249	247	1
その他	0	0	△ 0
負債合計	5,886	5,622	264
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	16,979	14,949	2,029
資本金	351	351	—
資本剰余金	429	429	—
利益剰余金	16,542	14,512	2,029
自己株式	△ 343	△ 343	—
その他の包括利益累計額	1,483	1,466	16
非支配株主持分	4	3	0
純資産合計	18,467	16,420	2,046
負債純資産合計	24,353	22,042	2,310

## Point ポイント解説

- ① 主要要因として、2024年5月に行ったキャリアス看護事業の譲受に伴うのれんの発生によります。
- ② 保有する投資有価証券の時価評価額は増加しましたが、政策保有株式の縮減を目的とした投資有価証券の一部売却により、総額が減少しました。
- ③ 主要要因として、決算賞与及び役員賞与の支給に伴い、各引当金を取り崩したことにあります。
- ④ 主要要因として、親会社株主に帰属する中間純利益3,114百万円の計上と、第44期(2024年3月期)の期末配当に関する剰余金の配当△1,085百万円の発生によります。

## ▶ 連結損益計算書 (単位:百万円) ※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

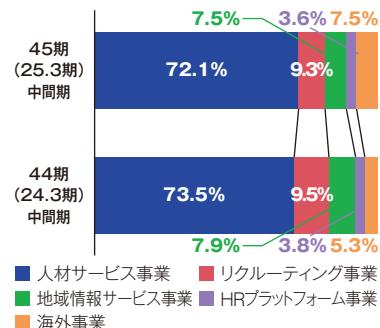
	45期 中間期 (2024年4月1日~9月30日)	44期 中間期 (2023年4月1日~9月30日)	増減額
売上高	17,145	15,798	1,347
売上原価	5,295	4,550	745
売上総利益	11,849	11,247	602
販売費及び一般管理費	8,066	7,216	849
営業利益	3,783	4,030	△ 247
営業外収益	34	47	△ 12
営業外費用	0	0	0
経常利益	3,817	4,077	△ 260
特別利益	713	4	708
特別損失	1	4	△ 2
税金等調整前中間純利益	4,529	4,077	451
法人税等合計	1,413	1,264	149
中間純利益	3,115	2,813	302
非支配株主に帰属する中間純利益	0	1	△ 0
親会社株主に帰属する中間純利益	3,114	2,811	302

## ▶ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円) ※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	45期 中間期 (2024年4月1日~9月30日)	44期 中間期 (2023年4月1日~9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,578	1,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	121	△ 237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,090	△ 823
現金及び現金同等物に係る換算差額	62	53
現金及び現金同等物の増減額	1,672	706
現金及び現金同等物の期首残高	12,997	12,213
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,669	12,919

## Point ポイント解説

- 5 主力の人材サービス事業、海外事業を中心に全てのセグメントが増収となりました。これに伴い、各セグメントの売上高構成比が以下のとおり変化しました。



- 6 主要要因として、人材サービス事業の看護師領域においてウェブCMやTVCM等、プロモーションを強化したことによります。
- 7 主要要因として、人員増に伴う人件費の増加568百万円、オフィスの増床・開設等に伴う地代家賃の増加47百万円等があります。
- 8 保有する投資有価証券の一部を売却したことに伴い、投資有価証券売却益713百万円が発生しました。
- 9 税金等調整前中間純利益の計上4,529百万円等により資金が増加しましたが、決算賞与支給等に伴う賞与引当金の減少312百万円、投資有価証券売却益の発生713百万円、売上債権の増加447百万円、法人税等の支払い482百万円等により資金が減少し、2,578百万円となりました。
- 10 有形及び無形固定資産の取得による支出341百万円、事業譲受による支出260百万円等により資金が減少しましたが、投資有価証券の売却による収入738百万円等により資金が増加し、121百万円となりました。
- 11 配当金の支払い1,082百万円等により、資金が減少しました。

## 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
証券コード	4318
株式公開日	2001年10月23日
事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人・ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
1単元の株式の数	100株
発行済株式の総数	19,098,576株(2024年9月30日現在)
公告の方法	電子公告とする 公告掲載URL <a href="https://919.jp/">https://919.jp/</a> <small>※ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う</small>

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でのお支払いいたします。なお、当社では配当金の除斥期間を3年と定めており、配当金支払開始日から満3年が経過いたしますと、配当金をお支払いできなくなりますのでご留意ください。

本誌記載記事に関するお問い合わせ先

**株式会社 クイック** 経営企画課 (IR担当)  
〒530-0018 大阪市北区小松原町2番4号  
E-mail [keisen-ir@919.jp](mailto:keisen-ir@919.jp)

## 株主様向け会社説明会を開催・コーポレートサイトに最新の株主様アンケート結果を掲載

### 前期に続き、関東地区の株主様向け会社説明会を開催!

2024年9月、東京本社にて関東地区の株主様向け会社説明会を開催いたしました。約60名の株主様にご参加いただき、代表取締役社長の川口より、当社グループの事業内容や今後の事業戦略、社会貢献活動等についてご説明いたしました。ご参加された株主様からは、「クイックグループへの理解が深まった」とのお声をいただく等、満足度の高いイベントとなりました。今後もこのような説明会を通じて、株主様との対話をより一層充実させてまいります。

### 株主様アンケート結果を掲載しました!

第44期(2024年3月期)株主通信に同封いたしました「株主様アンケート」につきまして、多数のご回答、ご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。株主の皆様から頂戴しましたご回答、ご意見につきましては、今後の当社グループの経営のご参考にさせていただくとともに、その一部をコーポレートサイト内の以下のページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



第44期(2024年3月期)株主様アンケート結果 <https://919.jp/ir/enquete.php>